



心地よい秋風が吹き抜けるようになってきました。園庭にも中道公園にも、子どもたちの元気な声が響いています。

運動会について「今年度はコロナ禍で、どのように実施をすると、3密を避けながらも、楽しくてワクワクするような運動会ができるか」と、職員で何度も協議を重ね、例年とは違う形で行うことに決めました。年中組・年長組が10月8日、年少組が13日に運動会を行います。

この日に向かって、各学年にふさわしい願いをもって、子ども達が「楽しい」と感じながら活動できるようにし、当日の運動会を思い切り楽しめるようにしたいと思っています。

各学年の子ども達に願っていること、見ていただきたいことをお伝えします。

年少組 ～運動会って楽しい♪～

年少組の子ども達にとっては、初めての運動会です。例年、年中組・年長組と同じ日に行い、始めの方に参加し、最後の方で戻るといった形で参加していました。今年度は、年中組・年長組とは別の日に園庭で行います。密を避け、学年ごとに参加するのであれば、遊び慣れた園庭で（しかも、芝生になって動きやすい）、年少組だけで行った方が無理なく運動会を楽しめると考え、このような形で行うことにしました。

年少児には、大好きな先生や周りの友達、おうちの方と一緒に無理なく参加できるようにし、運動会の雰囲気を楽しむことを、一番大切にしています。

最近、体を動かすことが楽しくなっている子ども達。気持ちのよい芝生の上をはだしで走ったり、ジャンプをしたり、転がったりして遊ぶのが大好きになってきました。「よい、どん」で、かけっこをして周りの友達と一緒に元気に走ることも楽しんでます。



リズムの曲は、先生達が用意した曲の中でも、とても気に入って踊っている「ジャングルぐるぐる」です。軽快な曲がかかると、子ども達は思わず動き出し、体を揺らし、腕をぐるぐるさせる動きを喜んでしています。そして、先生と一緒にワクワクしながら、ジャングルの中で川を跳び越えたり、トンネルをくぐったり、サイの目を回したりすることを楽しんでます。

リズムで踊るかわいい姿や、おうちの方の所までうれしそうに走ってくる姿をほほえましく見守っていただけたらと思います。

当日は、みんな元気に参加できることを願っていますが、「いっぱいのお客さんが嫌だ」「恥ずかしい」「今日はやりたくない」など予想もしなかった姿を見せてくれるのが3歳児です。そんなときにも笑顔で見守ってください。やりたくなったら急に動き出し、たとえじっとして動かなくても「楽しかった」と言うのがこの時期です。どうぞ、温かく見守り、拍手をお願いします。

年中組 ～みんなと一緒にワクワクするな♪～

年中組の子ども達には、「クラスのみみんなと一緒に」体を動かす楽しさを感じてほしいと願っています。

子ども達は“〇〇のつもり”になって遊ぶことが大好きです。

リズムの演技では、「踊り」として取り組むのではなく、何かのつもりで遊んでいることの延長で、自然に踊れるようにしています。

教師が曲を流したり、ハチの巣を部屋に作ったりすることで、ハチになって遊ぶことが大好きになった子ども達。ハチになってはちみつを集めたり、かわいい衣装をつけて動いたり、「チクチク」と周りの教師や友達を刺して回ったりして遊んでいます。4歳児ならではの、本当にかわいいなりきる姿です。



「スズメバチにきをつけろ！」で踊る時には、子ども達は、チクチクビームを出したり、「逃げろ、逃げろ」という面白い動きをしたりするところを、とても楽しみながら踊っています。輪になってクラスの友達と顔を見合わせながら近くに寄っていくところもとても嬉しそうです。また、先生達のハチをチクチクビームでやっつけたり、女王バチから逃げたりすることも楽しんでます。そんな“友達と一緒に”なりきって踊る楽しさを感じている姿を見ていただければと思います。



また、かけっこでは思うように体が動くようになってきて、大好きな先生のところまで元気いっぱいに走ることを楽しんでます。今年度は、感染予防のため保護者の方のところまで思い切り走ります。その後、ハチさんのために親子で一緒にお花畑を作るお楽しみもあります。

運動会当日は、緊張したりいつもとは違う雰囲気戸惑ったりすることもあるかもしれませんが、クラスのみみんな参加する楽しい雰囲気を作り、友達と一緒に元気に動き出せるようにしていきたいと思います。年少児から一回り成長した姿がご覧いただけたらと思います。

年長組 ～見て！ほくたちのかっこいい姿！～

年長組の子ども達には、「自分の力を出しきる心地よさ」「クラスのみみんな力で合わせる楽しさ」を味わってほしいと願っています。

リレーでは、始めのうちは一人一人がバトンを渡して走ることが嬉しい様子で、エンドレスで繰り返し走ることを何度も楽しんでいました。

クラス対抗のリレーを何度かしてみると、勝ったり負けたりする経験をし「速く走りたい」「勝ちたい」という意欲が出てきました。一生懸命走っても、負けてしまい、悔しくて泣いてくる子がいると、周りの子の表情が変わり、「1000回チームで練習しようよ」「バトンの練習しようよ」とチームで話し合い、練習する姿が見られました。また、「自分が抜かすことがで

きたのは、前に走った子が頑張ってくれたから」と気付く子もいて、驚きました。



何度も競争するうちに、一人一人が力を出し切れるようになってきています。「〇ちゃん、すごく速くなったね」と友達の頑張りにもよく気付くようになってきました。転んでも、バトンを落としても、あきらめず走る姿も見られるようになってきました。“勝っても、負けても頑張りぬくことが大切”ということを感じ、競争を楽しめるように支えています。

「火炎太鼓」の踊りでは、和太鼓の曲が気に入り、「自分達で考えた踊りがかっこよく踊りたい」という気持ちでいっぱいです。「バチを叩く音が揃ってるといいよね」「ポーズ、止まる方がかっこいいよね」などと自分達で気付いたことを言葉で伝え合い、頑張っています。各グループで考えた動きもあります。

“自分達で踊りを考えたんだ”“かっこいい隊形変化を考えたんだ”という自信をもち、生き生きと踊っています。当日は、学年のみんなで気持ちを一つにして踊り、感動を与えてくれると思います。どうぞお楽しみに。

当日は、多少のハプニングもあるかもしれませんが、みんなでお励まし合い、きっと頑張ってくれると信じています。そんな成長した年長児の姿をご覧ください。



当日は、子どもたちの描いた旗が運動会の会場を彩ります。

年長組は、運動会の機会に世界のたくさんの国々の国旗にも触れてほしいという願いから万国旗を描きました。国旗の絵本を見ながら、世界のいろいろな国に思いをはせ、旗を描いていました。年少組、年中組は運動会で飾られることを楽しみにしながら好きな絵を描きました。

自分の旗が飾られてほめられることは自信になりますので、お子さんと一緒に見つけてみてください。

